

大月市（地域産材を利用した椅子の作成、市内各所への設置）

- ▶ 大月市では地域材利用を啓発する取組として、市内人工林からの搬出された木材を活用した椅子を作成し、市内各所に設置した。
- ▶ この他、搬出された木材を市内の木質バイオマス発電所へ燃料チップとして供給した。

□ 事業内容

木質ベンチの作成・市内各所への設置

- ・ 市内人工林からの搬出材（スギ）を活用した木質ベンチを作成し、市内公共施設や大月駅前等の市内各所に設置
- ・ 作成個数 12個

【事業費】908千円（うち譲与税908千円）

【実績】木材使用量4.78m³

□ 取組の背景

- ・ 森林面積が市域面積の約87%を占める大月市では、人工林の約80%が利用期を迎えているが、市内における素材生産は低位に留まることから、森林や木材への関心を高めるような啓発活動を必要としていた。



□ 工夫・留意した点

- ・ ベンチは、木のぬくもりを感じられるよう無垢のスギを活用した。
- ・ 富士・東部地域における地域産木製品のブランド力を高め、幅広い受注への対応を目的に設立された「富士山木製品ブランド会議」を活用したことで円滑に作成することができた。



□ 取組の効果

- ・ ベンチに大月産材と印字することで、市民に身近な森林の価値を再認識する機会となった。
- ・ 市内外の林業・木材産業事業者同士の連携が強化された。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：30,412千円	②私有林人工林面積（※1）：4,002ha	
③林野率（※1）：86.6%	④人口（※2）：22,512人	⑤林業就業者数（※2）：64人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より